
平成24年3月期 決算説明会

株式会社N F Kホールディングス

大阪証券取引所（J A S D A Q）

証券コード：6494

平成24年6月

目次

- I 会社概要
- II 平成24年3月期 決算概要
- III 平成25年3月期 業績の見通し
- IV 今後の経営方針 ～中期経営計画～
- V 当社の事業内容

I 会社概要

I 会社概要

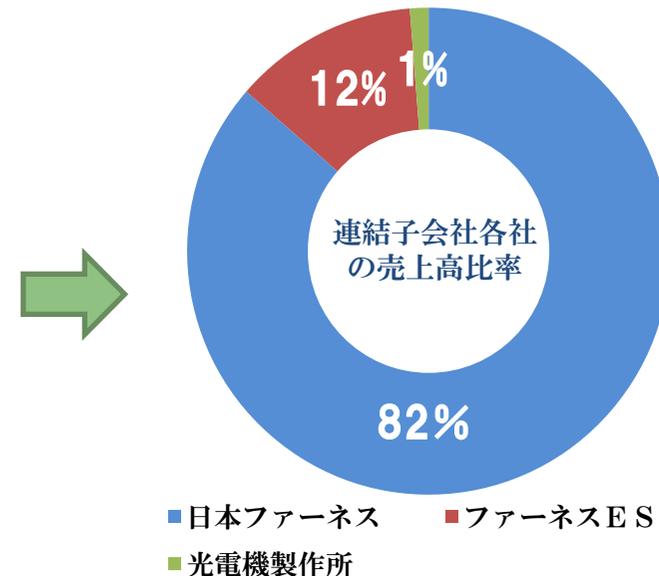
商号	株式会社N F Kホールディングス	事業内容	燃焼装置関連事業
本社	横浜市鶴見区尻手2丁目1番53号	事業所※	横浜市鶴見区／大阪事務所／豊田事務所／静岡工場／
代表者	代表取締役社長 関口 陽介	連結子会社	3社
設立	1950年4月12日	持分法適用関係会社	1社
資本金	2,131百万円（平成24年3月末現在）		
売上高	2,910百万円（平成24年3月期連結）		
従業員	100名（平成24年3月末現在・連結）		

※子会社含む

(2) 企業集団の構成

会社名	事業内容	売上高
日本ファーンエス株式会社	燃焼関連装置製造販売	2,494百万円
株式会社ファーンエスE S	燃焼関連装置メンテナンス	357百万円
株式会社光電機製作所	電装関連機器設計製造	36百万円

（売上高：平成24年3月期、連結消去後）



I 会社概要 当社の企業理念

- 燃焼技術を企業経営の基礎とする
- 燃焼関連の最先端技術を社会に提供する
- 地球環境の保全と循環型社会の実現に貢献する
- 全てのステークホルダーの利益に貢献する
- 上記に向けて絶え間ない努力とチャレンジを継続する

I 会社概要 沿革

昭和25年04月	<u>日本火熱材料株式会社 設立</u>
昭和26年06月	日本ファーンレス工業株式会社に商号変更
昭和28年09月	蒲田工場（機械工場）設置
昭和37年08月	横浜市鶴見区に本社事務所建設
昭和38年05月	<u>日本証券業協会に株式を店頭登録</u>
昭和38年06月	鶴見工場設置
昭和38年09月	蒲田工場を廃止、機械工場を鶴見に集約
昭和45年05月	日本ファーンレス製造株式会社（連結子会社）を設立
昭和50年04月	鶴見にプラントビル増設
平成11年06月	鶴見工場売却
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場
平成18年09月	株式会社光電機製作所を子会社化（現・連結子会社）
平成18年10月	株式会社N F Kファイナンスを統合し商号を株式会社N F Kホールディングスに変更。工業炉燃焼装置製造業を会社分割により新設会社日本ファーンレス株式会社（現・連結子会社）に移転
平成20年10月	株式会社ファーンレスE S（現・連結子会社）を設立
平成22年01月	日本ファーンレス製造株式会社の全事業を連結子会社日本ファーンレス株式会社へ譲渡

Ⅱ 平成24年3月期 業績の概要

Ⅱ 平成24年3月期業績 連結損益計算書

	平成23年3月期	平成24年3月期	前期比増減額	前期比増減率 (%)
売上高	2,068,915	2,910,293	841,378	40.7%
売上総利益	489,786	838,369	348,583	71.2%
販管費	768,191	635,582	△132,609	△17.3%
営業利益	△ 278,404	202,787	481,191	—
経常利益	△ 267,393	209,243	476,636	—
税金等調整前当期純利益	△ 209,276	201,731	411,007	—
当期純利益	△ 231,564	191,468	423,032	—
当期包括利益	△ 230,860	226,699	457,559	—
EBITDA	△244,268	226,140	470,408	—

※EBITDA=(経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費)

Ⅱ 平成24年3月期業績 売上高増加の内容 案件規模別

(単位：千円)

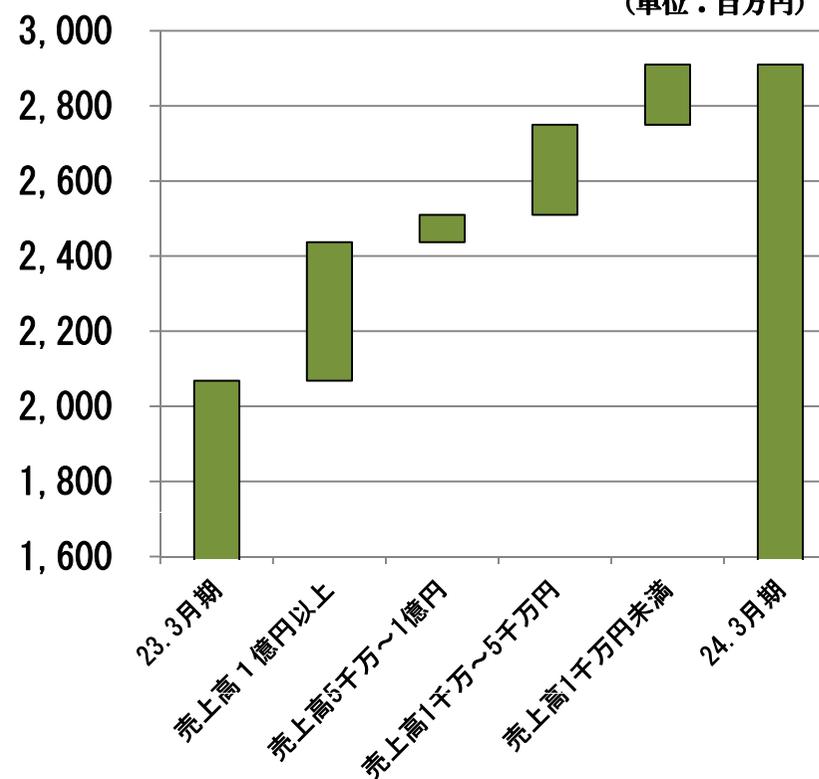
	平成23年3月期	平成24年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
売上高	2,068,915	2,910,293	841,378	40.7%

(単位：千円)

	売上高
平成23年3月期実績	2,068,915
売上高1億円以上の案件増加分	369,326
売上高5千万円以上の案件増加分	73,266
売上高1千万円以上の案件寄与分	240,708
売上高1千万円未満の案件	157,940
平成24年3月期実績	2,910,293

- ・ 海外自動車関連向け大型案件獲得
- ・ 1千万円以上の案件の大幅な増加

(単位：百万円)



II 平成24年3月期業績 売上高増加の内容 部門別

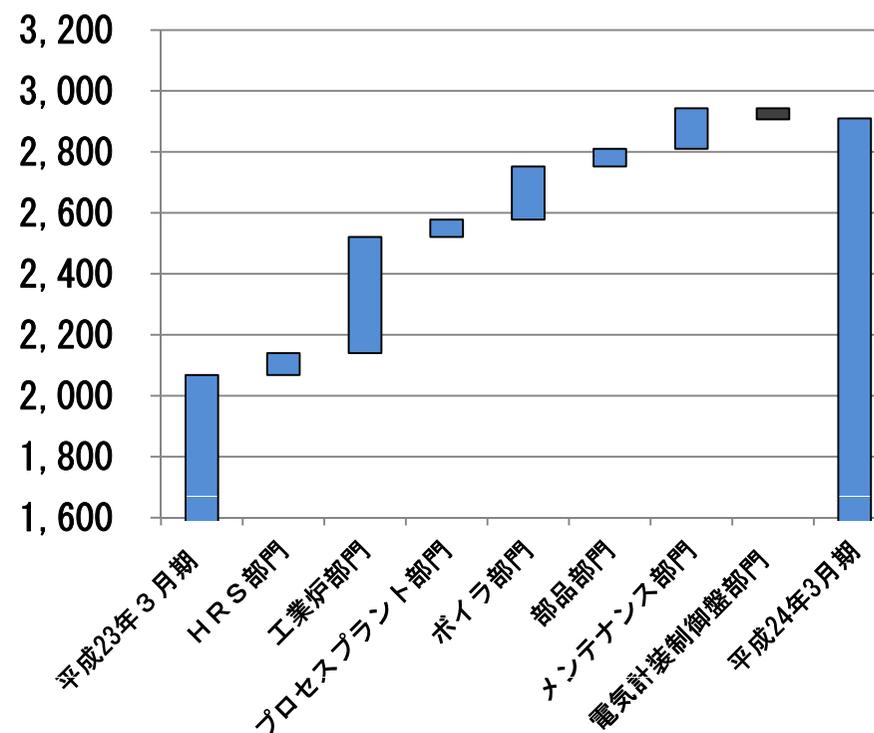
(単位：千円)

	平成23年3月期	平成24年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
売上高	2,068,915	2,910,293	841,378	40.7%

(単位：千円)

	売上高増減
平成23年3月期実績	2,068,915
HRS部門	72,363
工業炉部門	381,410
プロセスプラント部門	57,332
ボイラ部門	174,815
部品部門	58,454
メンテナンス部門	133,466
電気計装制御盤部門	-36,352
平成24年3月期実績	2,910,293

(単位：百万円)



部門別では工業炉部門、ボイラ部門、メンテナンス部門が売上高増を牽引

Ⅱ 平成24年3月期業績 営業利益増加の内容

(単位：千円)

	平成23年3月期	平成24年3月期	前期比増減	前期比増減率 (%)
営業利益	△ 278,404	202,787	481,191	—

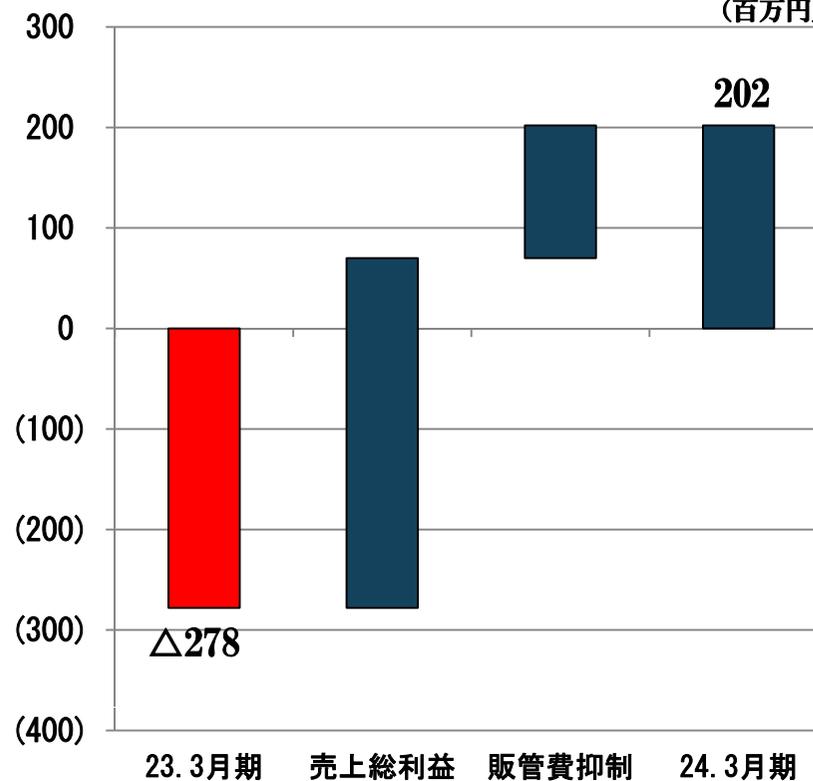
(単位：千円)

	営業利益
平成23年3月期実績	△ 278,404
売上総利益の増加分	348,583
販管費抑制	132,609
平成24年3月期実績	202,787

営業利益の増加理由

- 売上総利益の大幅な増加
売り上げ増 (大型案件・海外案件の拡大)
徹底的な原価低減&販売価格の改善
- 販管費の抑制
大幅な販管費の抑制

(百万円)



Ⅱ 平成24年3月期業績 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成23年3月期 末	平成24年3月期 末	増 減
流動資産	2,237,799	2,684,498	446,699
固定資産	1,042,505	1,016,519	△25,986
資産合計	3,280,305	3,701,017	420,712
流動負債	542,213	683,970	141,757
固定負債	520,800	492,496	△28,304
負債合計	1,063,013	1,176,466	113,453
資本金	2,091,252	2,131,532	40,280
資本剰余金	0	40,280	40,280
利益剰余金	△ 257,538	△ 66,069	△191,469
自己株式	△ 195	△ 195	0
株主資本合計	1,833,518	2,105,547	272,029
評価・換算差額 等	383,773	419,004	35,231
純資産合計	2,217,292	2,524,551	307,259
負債純資産合計	3,280,305	3,701,017	420,712

【流動資産】	() 内は前期末比増減
現金・預金	1,373百万円 (+161百万円)
受取手形・売掛金	888百万円 (+192百万円)
仕掛品	266百万円 (+119百万円)
原材料・貯蔵品	152百万円 (+ 14百万円)
【固定資産】	
土地・建物等	794百万円 (△10百万円)
投資有価証券	111百万円 (+ 10百万円)
その他	100百万円 (△19百万円)
(保険積立金57、差入保証金37、長期貸付4)	
【流動負債】	
支払手形・買掛金	331百万円 (△51百万円)
短期借入金	23百万円 (+ 7百万円)
前受金	139百万円 (+121百万円)
未払税	51百万円 (+ 39百万円)
【固定負債】	
長期借入金	11百万円 (△13百万円)
再評価に係る繰延税金負債	228百万円 (△32百万円)
退職給付引当金	229百万円 (+ 15百万円)

財務指標

	平成23年 期末	平成24年 期末
自己資本比率	67.6%	68.2%
有利子負債	118百万円	111百万円

Ⅱ 平成24年3月期業績 連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

科 目	平成23年3月期	平成24年3月期	前年同期比 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△166,430	78,463	244,893
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 18,995	△6,190	12,805
財務活動による キャッシュ・フロー	34,238	74,110	39,872
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 1,334	△366	968
現金及び現金同等物の 増減額	△ 152,521	146,016	298,537
現金及び現金同等物の 期首残高	1,332,289	1,179,767	△152,521
現金及び現金同等物の 期末残高	1,179,767	1,325,784	146,017

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

税引前当期純利益	201百万円 (+)
仕入債務減少	51百万円 (-)
売上債権の増加	192百万円 (-)
たな卸資産の増加	134百万円 (-)
前受金の増加	121百万円 (+)
減価償却	17百万円 (+)
のれん償却	2百万円 (+)
その他	34百万円 (+)

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

定期預金預入	20百万円 (-)
有形及び固定資産取得	5百万円 (-)
投資有価証券取得	3百万円 (-)
その他	22百万円 (+)

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

株式発行による収入	80百万円 (+)
短期借入金の純増加	7百万円 (+)
長期借入金返済	13百万円 (-)

II 平成24年3月期業績 部門別売上高

(単位：千円)

	平成23年3月期		平成24年3月期		前年比		平成25年3月期
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率	売上計画
工業炉燃焼装置製造業	2,065,758	99.8%	2,907,248	99.9%	841,490	40.7%	3,227,000
HRS部門	368,070	17.8%	440,433	15.1%	72,363	19.7%	444,489
工業炉部門	326,384	15.8%	707,794	24.3%	381,410	116.9%	704,142
プロセスプラント部門	602,606	29.1%	659,938	22.7%	57,332	9.5%	1,033,328
ボイラ部門	211,395	10.2%	386,210	13.3%	174,815	82.7%	402,241
部品部門	241,844	11.7%	300,298	10.3%	58,454	24.2%	308,062
メンテナンス部門	242,122	11.7%	375,588	12.9%	133,466	55.1%	334,735
電気計装制御盤部門	73,335	3.5%	36,983	1.3%	-36,352	-49.6%	20,000
その他の事業	3,156	0.2%	3,044	0.1%	-112	-3.5%	3,000
合 計	2,068,912	1.000	2,910,288	1.000	841,376	40.7%	3,250,000

II 平成24年3月期業績 決算総括

Point 1

大型受注案件増による増収

Point 2

販管費抑制による増益

Point 3

原価低減・販売価格改善による増益

大幅な販管費
の抑制

海外大型
案件受注

原価低減

- ・平成24年3月期は前期を大幅に上回る売上高を達成
- ・3期ぶりの当期純利益を計上

Ⅲ 平成25年3月期 業績の見通し

Ⅲ 平成25年3月期 業績予想（連結）

単位（百万円）

科 目	平成24年3月期		平成25年3月期		
	第2四半期 累計（実績）	通期 （実績）	第2四半期 累計（予想）	通期（予想）	前年比増減率 （予想）
売上高	1,495	2,910	1,470	3,250	11.7%
営業利益	117	202	62	247	21.8%
経常利益	122	209	63	250	19.5%
税前四半期純利益	118	201	63	250	24.4%
当期純利益	113	191	57	230	20.1%
1株当たり当期純利益	3.82円	6.45円	1.86円	7.49円	20.1%

**当期純利益で2億3千万円
2期連続黒字で、安定的な黒字体質へ**

Ⅲ 平成25年3月期 部門別受注状況

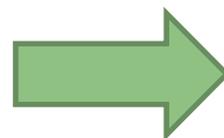
(単位：千円)

	平成23年3月期		平成24年3月期		前年比増減率	
	受注高	期末受注残	受注高	期末受注残	受注高	期末受注残
工業炉燃焼装置製造業	2,343,552	1,018,139	3,231,193	1,325,565	37.9%	30.2%
H R S 部門	390,430	70,366	492,847	122,780	26.2%	74.5%
工業炉部門	799,047	506,936	298,936	98,078	-62.6%	-80.7%
プロセスプラント部門	402,429	231,351	1,145,561	716,974	184.7%	209.9%
ボイラ部門	204,175	107,381	483,874	205,045	137.0%	91.0%
部品部門	227,467	36,618	329,566	65,886	44.9%	79.9%
メンテナンス部門	247,338	48,188	426,763	100,871	72.5%	109.3%
電気計装制御盤部門	72,662	17,295	52,692	14,977	-27.5%	-13.4%
その他の事業	0	0	0	0	0.0%	0.0%
合 計	2,343,552	1,018,139	3,231,193	1,325,565	37.9%	30.2%

IV 今後の経営方針

IV 今後の経営方針 ～中期経営計画～

- 1 3 中計経営基本方針 平成23年8月に策定
- (1) 燃焼機器関連事業の強化
 - (2) 先端ニーズに対応する研究開発体制の構築
 - (3) 黒字体質の確立
 - (4) コンプライアンス、コーポレートガバナンス重視の徹底



国内基盤固め

海外売上比率35%

(単位:百万円)

	平成23年3月期 実績	平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期 中計
		中計	実績	中計	今期業績予想	
売上高	2,068	3,306	2,910	4,000	3,250	5,000
経常利益	△267	91	209	247	250	439
当期純利益	△231	83	191	236	230	428
純資産	2,217	2,300	2,524	2,537	2,754	2,965
1株利益(円)	△7.81	2.80	6.45	7.96	7.49	14.44
1株純資産(円)	74.77	77.57	82.20	85.56	89.67	100.00

全てのステークホルダーから信頼される企業へ

IV 今後の経営方針 ～中期経営計画～ アクションプラン

2013年度売上高50億、当期純利益4億28百万円達成のためのアクションプラン

マーケティング&グローバル展開の実行

世界的視野で
売れる市場を選択

キーワード：成長市場

売れる商品を提供

キーワード：環境・省エネ

新製品投入
オリンピア工業との業務提携
その他製品開発

国内基盤固め

海外売上比率
35%へ

IV 今後の経営方針 ～中期経営計画～ アクションプラン

1. 戦略的新製品の開発

(1) キルンバーナ

目的：成長市場でのキルンバーナの需要増加に対応

セメント
生産量

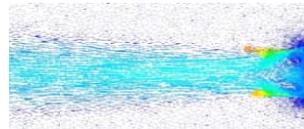
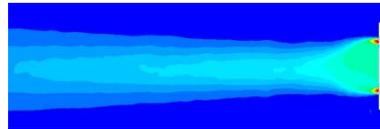
日本：1996年 1億トン-/年 → 2010年 5千万トン/年 以下
世界：2004年 21.9億トン-/年 → 2009年 28億 トン/年

↓
世界のセメント生産量は6.1億トン/5年 の増加（約150工場新設）
（中国4.3億トン、インド0.45億トン、その他1.35億トン）

↙
効果●ベトナム、中国の既存顧客への欧州メーカー攻勢に対抗
●成長市場での新規顧客獲得

技術革新した新型キルンバーナを開発（CFD&物理モデル援用）

↓
火炎制御性・燃焼効率・低公害性を改善



IV 今後の経営方針 ～中期経営計画～ アクションプラン

1. 戦略的新製品の開発

(2) 水管ボイラ用新型低NO_xバーナ：ULX

目的：国内・海外市場でのボイラバーナの競争力強化

- 効果
- 国内ガス会社殿の協力により、国内シェア拡大
 - 中国、台湾等成長市場でのシェア拡大
 - 韓国のライセンサーへ新規バーナの技術供与

水管ボイラ市場にて国内競合メーカーを凌駕する
低NO_x性能と安定性を持つ機種の開発



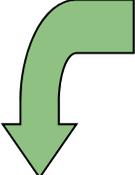
低NO_x、低空気比燃焼、低COを実現

IV 今後の経営方針 ～中期経営計画～ アクションプラン

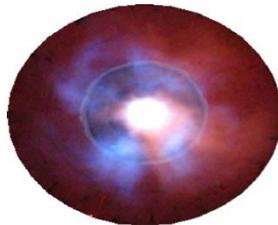
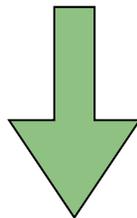
1. 戦略的新製品の開発

(3) 石油加熱炉用超低NO_xバーナ

目的：海外製油所向けバーナ市場での競争力強化

- 
- 効果
- 既存顧客への競合他社攻勢を排除し交換需要に対応
 - 国内シェア巻き返しとアジア、中東でのシェア拡大
 - シェア拡大によりメンテ・部品交換ベースを拡大

燃焼試験とCFD計算援用を効果的に活用し、現行の低NO_xバーナの
性能を進化させる



超低NO_x性、低温安定性の両立を実現

IV 今後の経営方針 ～中期経営計画～ アクションプラン

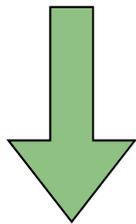
2. 次世代差別化製品の開発

超高温水蒸気によるバイオマスガス化CHPシステム

目的：自然エネルギー利用によるコージェネシステムを製品化・普及
(先導的なテーマのためNEDO委託研究事業で開発中、2013年実証完了予定)

- 地産地消が可能な分散型エネルギー自給設備の普及
- 東南アジア圏におけるバイオマスエネルギー利用設備の需要拡大に対応する製品投入

採算性において未だ成功例が稀有なバイオマスエネルギー利用技術を、独自技術採用により採算性のある小型装置として完成



処理量100kg/h、熱250kW/発電50kWのCHP設備完成

IV 今後の経営方針 ～中期経営計画～ アクションプラン

新製品開発ツールの強化

1. CFD（コンピュータによる流体力学計算）の援用

効果

- 実験による検証が不可能な規模の現象予測
- 開発の方向性判断に要する技術的根拠の供与
- 実機設計での判断におけるリスク軽減

2. 多目的燃焼試験設備の有効利用

効果

- 多種燃料に対応する燃焼試験の迅速な実施
- 顧客への信頼性のある技術提案
- オリンピア工業とのコラボ実験により、効率的なデータ取得・解析に基づく判断

IV 今後の経営方針 ～業務提携について～

1. 第三者割当の概要

① 発行期日	平成24年3月15日	⑤ 資本組入金	1株につき38円
② 発行新株式数	普通株式1,060,000株	⑥ 資本組入金総額	40,280,000円
③ 発行価額	1株につき76円	⑦ 募集又は割当方法	第三者割当 (オリンピア工業株式会社 106万株)
④ 発行価格の総額	80,560,000円		

2. 第三者割当の目的

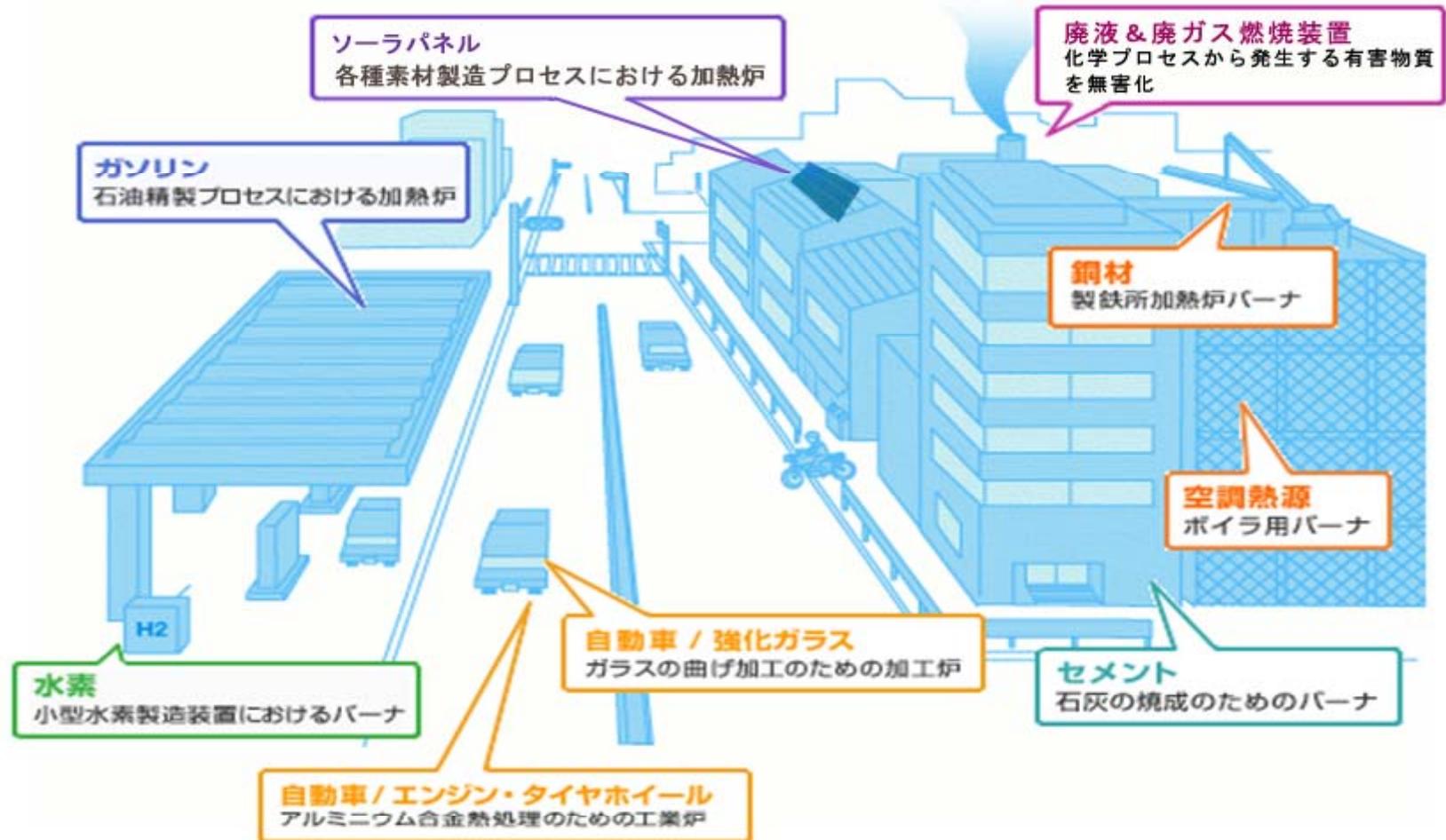
- ・ 調達資金をバーナの対環境や省エネ性能向上を目的とする「バーナ燃焼試験システム」新設の設備投資に充当し、オリンピア工業株式会社と共同運用して技術的成果を共有
- ・ オリンピア工業株式会社との提携関係強化

3. 業務提携の進捗状況

- | | |
|--|---------------------------------------|
| (1) 製造受託
オリンピア工業(株)の製造能力の活用 | (4) 技術協力
技術交流機会の定期的開催をスタート |
| (2) 仕入れルート相互活用
調達協力への取組み(共同仕入れ含む)を開始 | (5) 営業協力
営業活動協力している。 |
| (3) 製品の相互活用
相手の製品を活用した顧客へのソリューション提案
活動開始 | (6) 共同開発
燃焼試験システムの共同開発を検討 |
| | (7) 業績貢献への数値計画
提携効果を数値目標として今期計画に組入 |

V 当社の事業内容

V 当社の事業内容 当社と社会の関わり



V 当社の事業内容



1. プラントエンジニアリング事業

- ・産業機械関連
- ・石油関連
- ・環境関連



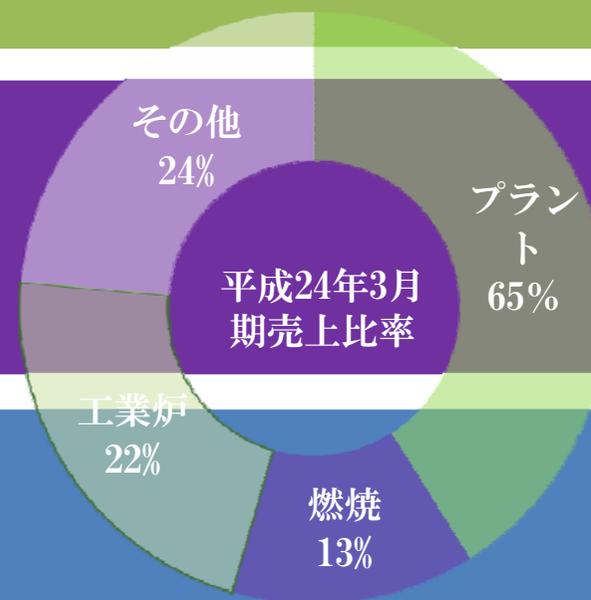
2. 燃焼機事業

- ・金属加熱関連
- ・ボイラ関連



3. 工業炉事業

- ・自動車関連
- ・金属加工炉関連



V 当社の事業内容 プラントエンジニアリング事業

ロータリーキルン燃焼状態



特殊熱風発生炉(高圧型)



直火式熱風発生炉



ロータリーキルンバーナ



空気加熱炉



HRS-UXバーナ



硫黄回収装置



廃液&廃ガス燃焼装置



産業機械関連

- 【主な製品群】
ロータリーキルン・
バーナ
熱風炉
- 【主な販売先】
鉄鋼関連
セメント

石油関連

- 【主な製品群】
空気加熱炉用バーナ
プロセスヒーター用
バーナ
- 【主な販売先】
石油精製企業

環境関連

- 【主な製品群】
HRS-UXバーナ
インシネレーター
小型加熱炉
- 【主な販売先】
化学関連企業

V 当社の事業内容 プラントエンジニアリング事業主力製品



【廃液&廃ガス燃焼装置】

製品特徴

化学プロセスから発生する廃ガス、廃液を焼却し無害化。完全に焼却させるための滞留時間やNO_xの発生を抑制させる混合方法など、多くのノウハウを活用。

主な販売先

化学メーカー

販売目標

年間3台

価格帯

0.5億～3億

V 当社の事業内容 燃焼機事業

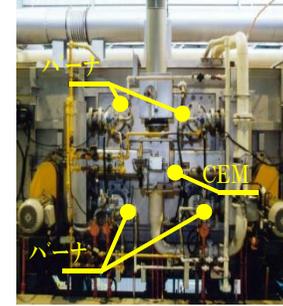
水素バーナ



ULN型低NOxバーナ



メッキ設備用 HRSラジエントチューブバーナ



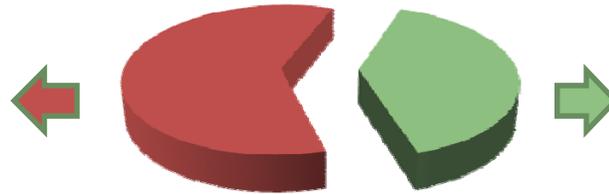
連続焼鈍設備用HRSRTバーナ



ボイラ用廃熱回収器



ガラス製熱交換器



鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



鍛造加熱炉用HRS-DLバーナ



ボイラ関連

【主な製品群】
 水管ボイラ用バーナ
 水素バーナ
 多種燃料バーナ

【主な販売先】
 大手ボイラメーカー

金属加熱炉関連

【主な製品群】
 鉄鋼加熱用リジェネバーナ
 ラジエントチューブバーナ

【主な販売先】
 熱処理業界
 鉄鋼業界



【リジェネレイティブバーナ】
(商品名：HRS)

製品特徴

限界排熱回収、低NO_x、
炉温均一化性能が優れている

主な販売先
鉄鋼関連

販売目標
50～100台

価格帯
300～500万円

V 当社の事業内容 工業炉事業

バスケットレス多段回転炉



2階建AL鋳物T6熱処理炉



自動車用ガラス曲加工炉



高張力鋼板連続加熱炉



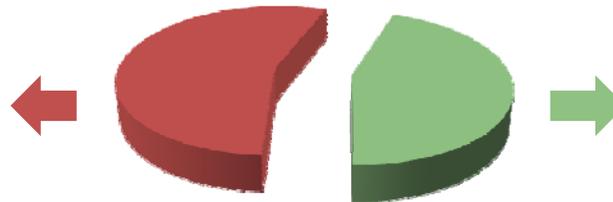
バッチ式熱処理炉(直火式)



バッチ式熱処理炉(RT式)



多目的合金鋼バッチ炉



自動車関連

【主な製品群】
バスケットレス回転炉
ガラス曲げ加工炉

【主な販売先】
大手自動車メーカー
自動車部品製造メーカー

鉄・非鉄金属熱処理関連

【主な製品群】
鉄・非鉄金属熱処理炉
熱処理用ラジアント
チューブバーナ

【主な販売先】
金属熱処理メーカー
窯業関連メーカー

V 当社の事業内容

工業炉事業主力製品



【バスケットレス回転炉】

日本機械工業連合会 優秀省エネルギー機器 『経済産業大臣賞』受賞

製品特徴

バスケットレス化を実現したことにより、従来製品より42%もの省エネ化を実現

主な販売先

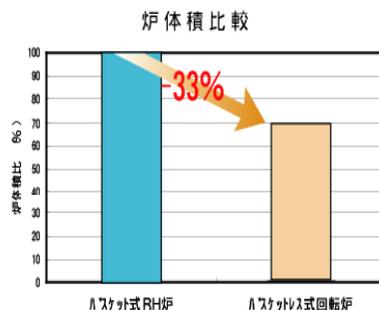
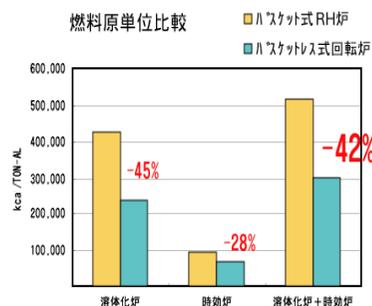
大手自動車各社

販売目標

年間3台程度

価格帯

8000万円～2億円





新型水素製造装置

(HiCOTリフォーマ)

- 新型リジェネレータを活用
- HiCOT技術により水素製造炉、メタノール合成、GTL (Gas to Liquid) などの化学反応炉の省エネ・低公害・加熱性能強化を同時実現。
- 現在、H.TOPSOEにて販促を検討中
- 販売予定価格
6000千万円～1億円

プラント設計・建設：千代田化工建設（株）
バーナ設計製作：日本ファーンズ（株）

V 当社の事業内容 当社の強み

卓越した技術力

カスタムメイド

長年にわたり培った製品信用力

優良な顧客基盤

ファブレスで柔軟な経営



本資料に関するお問合せ

株式会社NFKホールディングス IR企画室

TEL：045-575-8000

E-MAIL：ir@nfk-hd.co.jp

★注意事項 本資料に記載されている計画・戦略・見通しおよびその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいております。これらの期待・見積り・予想は経済情勢や競争環境の変化等の潜在的なリスク・不確定要素、仮定の影響を受けますので、実際の実績は見通しとは異なる可能性があります。

また、当社は新しい情報・将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する責務を負うものではありません。



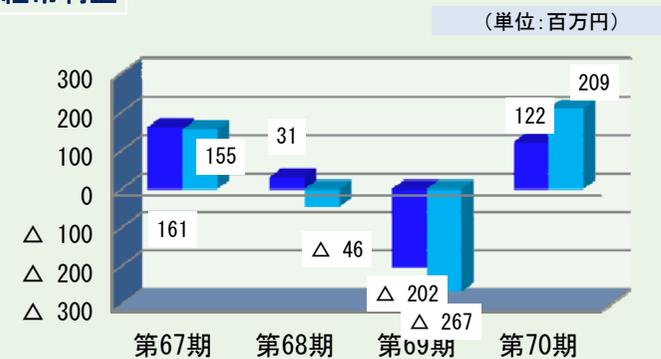
<補足資料>

平成24年3月期 連結決算ハイライト

売上高



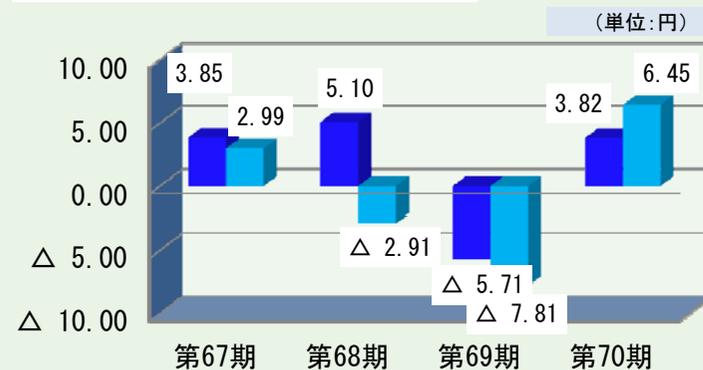
経常利益



四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



■ 第2四半期 ■ 通期

平成24年3月期 連結決算ハイライト

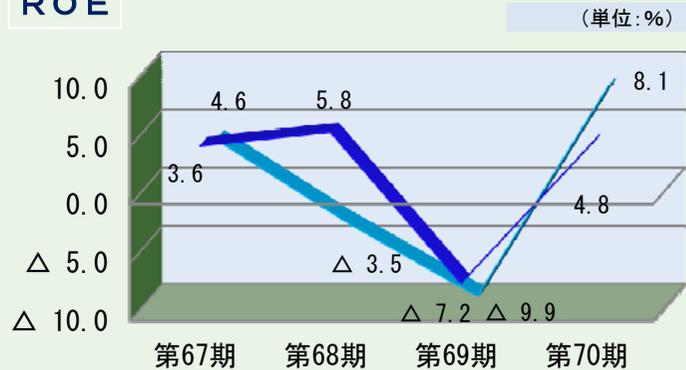
純資産



総資産



ROE



(注)当第2四半期は、次の通りROEを算出しております。
 $ROE = (1株当たり四半期純利益) / (1株当たり平均純資産) \times 100$

■ 第2四半期 ■ 通期

